

令和2年3月27日

登録試験機関

公益財団法人原子力安全技術センター

平成29年度第2種放射線取扱主任者試験における

問題の誤りに係る再発防止の取組について

令和元年7月19日にお知らせした平成29年度第2種放射線取扱主任者試験の問題の誤りについて、この問題の誤りが判明するまで試験実施後約2年が経過してしまった経緯があり、当センターでは、本事案の重要性を認識し、当センター内に設置した調査委員会において原因を調査し、再発防止策を検討いたしました。

調査委員会は、試験問題を作成する専門家を含めて試験業務に携わる者により構成しました。調査委員会では、誤りのあった問題を作成した専門家などから聞き取りを行い、網羅的な要因分析と対策立案に有効である分析手法※を用いて検討いたしました。

この検討結果を踏まえて再発防止策を取りまとめました。主な対策としては、問題を作成する専門家の構成、確認の方法を改善し、試験問題の確認体制を強化いたしました。

令和2年度放射線取扱主任者試験の実施に向けて強化した体制のもと、これまで以上に、適切な試験の実施に努めてまいります。

なお、令和2年度放射線取扱主任者試験の日程等については、原子力規制委員会による官報公告の後、下記の当センターホームページにてご案内いたします。

(公財) 原子力安全技術センターホームページアドレス [<https://www.nustec.or.jp/>]

以上

<問い合わせ先>

公益財団法人原子力安全技術センター

放射線安全部

石川、堀内 TEL 03-3814-7480

※分析手法は、「4M5E分析手法」を用いました。この分析手法の特徴は、要因分析の専門的な知識やノウハウを用いることなく、比較的簡便に網羅的な要因分析と対策立案ができる実用的な手法であることです。